

2) 上位計画・関連計画の整理

上位計画・関連計画から導き出される計画対象区域の位置づけをまとめると、概ね以下のとおりです。

吹田市第3次総合計画

【まちづくりの基本方向】

- これまで営まれてきた地域でのさまざまなコミュニティ活動と連携し、住みよいまちづくりを進めます。
- 誰もが安心して暮らせるまちづくりを進めます。
- 河川を生かし、ふれあいの場として活用します。
- 緑化の推進などに努め、生活環境の向上を図ります。
- 環境と調和した工業の振興を図ります。

【計画】

- （仮称）西吹田駅前前の整備については、地域の特性を生かした、魅力あるまちづくりに向けて、市民、事業者の参画の下で、協働により取り組みます。

吹田市都市計画マスタープラン

【都市空間の将来像】（地域拠点としての位置付け）

- （仮称）西吹田駅周辺は、駅の設置とあわせて利便性の高い市街地環境の整備を進め、市域南部の新しい地域拠点の形成をめざします。

【まちづくりの重点方針】

- （仮称）西吹田駅周辺は大阪外環状線鉄道事業の進捗にあわせて西吹田駅前線の整備を促進し、新駅設置に伴う地域ポテンシャルの向上を踏まえて、駅前としての利便性や集客性をめざした都市機能の立地誘導など土地の有効・高度利用を図るとともに、魅力的な環境の形成を図るためのまちづくりをめざします。

関連計画

【土地利用】

- 産業機能と居住機能が調和した市街地の形成をめざします。

【立地機能など】

- 工業者と商業者の交流の場づくりを進め、製販連携による新たな商品やサービスの創造を図り、公的機関による技術指導や市内に立地する大学や研究機関との交流活動を通じて、製品の高付加価値化を進め、本市の商工業の核となるよう支援策を検討していきます。

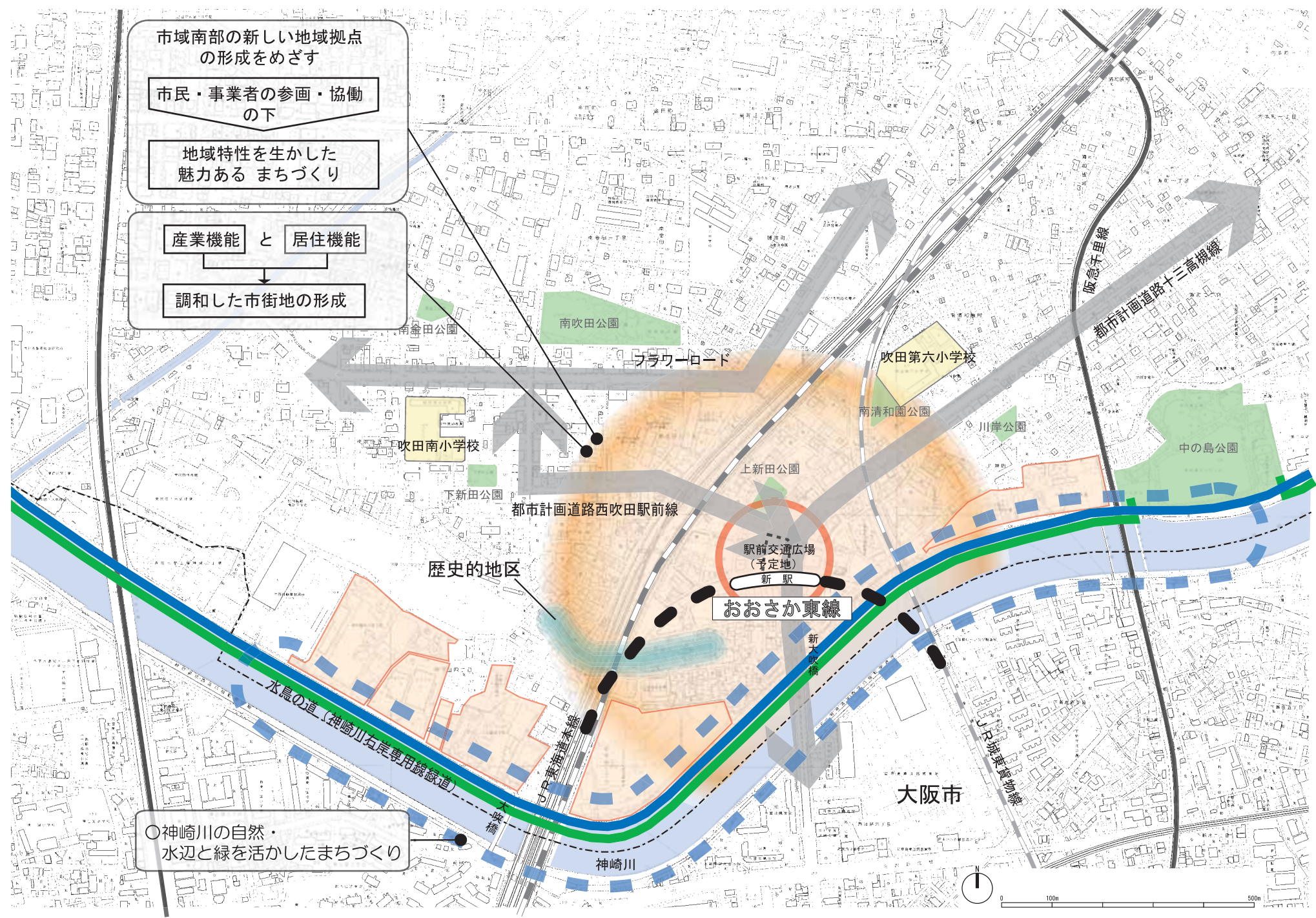
【活用する資源】

- 神崎川の自然を活かしたまちづくり。
- 水辺と緑を活かした潤いのある景観をはぐくむ。

【推進方策】

- 安心・安全な地域生活を実現するため、住民自身による助け合い活動等、地域福祉活動を推進する。

計画対象区域における上位計画・関連計画の整理



都市計画道路十三高槻線



都市計画道路西吹田駅前線予定地



おおさか東線新駅予定地



神崎川の遊歩道



神崎川沿いの企業



新大吹橋からの眺望



上新田公園

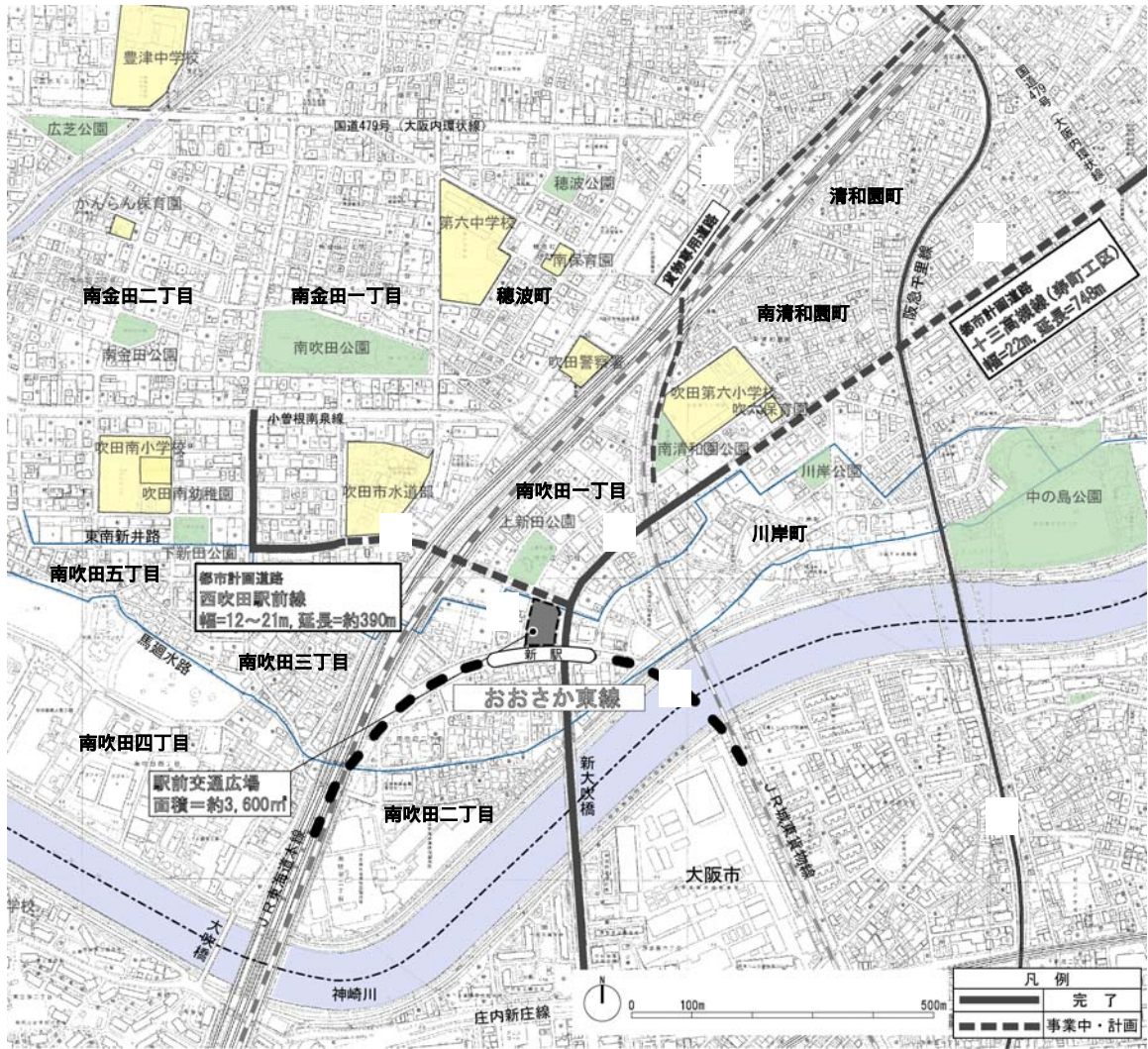
凡例	内容・説明	掲載計画名など
	地域拠点 (駅前としての土地の有効・高度 利用と魅力的なまちづくり)	都市計画マスタープラン
	骨格となる道路	都市計画マスタープラン で位置づけられた幹線
	神崎川コース	花と緑、水めぐる歴史文化 の南北ルート
	水辺スーパーロングコース	ぶらっと吹田 (花と緑水めぐる遊歩道)
	歴史的地区	景観まちづくり計画
	産業の景観(活力の中にも潤いと 親しみのある景観を育む地区)	

3) 周辺の主要プロジェクト

計画対象区域においては、おおさか東線の整備による新駅の設置や都市計画道路十三高槻線の整備が進むことにより、地区外とのつながりが強化されます。

都市計画道路西吹田駅前線の整備により、計画対象区域と JR 東海道本線を挟んで西側の市街地とのつながりが強化されます。

そのほか、吹田貨物ターミナル駅(仮称)の整備に伴う貨物関連自動車専用道路の整備や、阪急千里線の連続立体交差事業が計画されています。



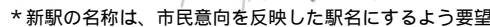
都市計画道路西吹田駅前線の整備

JR 東海道本線の東西市街地を結び、おおさか東線の新駅へのアクセス路となる重要な道路で、平成 28 年度(2016 年度)の完成を目標に吹田市が整備していきます。

駅前交通広場の整備

おおさか東線の新駅の開設にあわせ、吹田市が整備していきます。

大阪外環状鉄道株式会社が事業主体であり、「放出」から「久宝寺」までは平成 20 年（2008 年）3 月に開業し、「新大阪」から「放出」までの区間は平成 23 年度末（2011 年度末）完成予定です。吹田市内では、南吹田二丁目に新駅が計画されています。



阪急千里線を地下で立体交差するための工事を含め、国道 479 号（大阪内環状線）から吹田第六小学校前付近の区間（寿町工区）の整備を、事業主体である大阪府が進めています。計画では平成 22 年度末（2010 年度末）に開通予定です。

吹田貨物ターミナル駅(仮称)の整備に伴い、貨物関連自動車の運行経路として設置される専用の通路で、独立行政法人鉄道建設・運輸施設整備支援機構が整備します。計画では平成 22 年度末(2010 年度末)に開通予定です。

新大吹橋北詰～市道南清和園町 8 号線までの区間において、歩道を拡幅して、植樹帯を設けるなど、独立行政法人鉄道建設・運輸施設整備支援機構が改修を行います。

地域分断の解消及び交通の円滑化を図るため、大阪市が事業を進めています。高架化する駅は、「崇禅寺駅」「淡路駅」「柴島駅」「下新庄駅」であり、平成 9 年度（1997 年度）に事業着手し、平成 32 年度末（2020 年度末）事業完了予定です。

4) 南吹田地域の特性と課題

計画対象区域の現況・意向調査の結果を踏まえ、下記のように計画対象区域を3地区に分けて各地区の特性を総括し、対応すべき課題を整理しました。

	各地区の特性
吹南地区 (南吹田一・二丁目付近)	○住宅と工業・流通・業務機能が混在するエリア ○倉庫等の流通・保管施設の立地が進むエリア ○共同住宅の立地が進むエリア ○新駅の整備により鉄道利用の利便性が高まるエリア ○低未利用地が点在し、鉄道・道路の整備効果により、土地利用が急速に変化する可能性のあるエリア ○緑道や神崎川などがあるが緑地が少なくアメニティ性が低いエリア ○不法駐車が多いなど治安や生活環境面で課題のあるエリア
吹南地区 (南吹田三丁目付近)	○住宅と流通・業務機能が混在するエリア ○流通・業務施設の立地が進むエリア ○共同住宅の立地が進むエリア ○幹線道路等の整備、江坂への近接性から利便性の高いエリア ○フラワーロードなどがあるが緑地が少なくアメニティ性が低いエリア ○都市計画道路西吹田駅前線の整備により鉄道利用の利便性が高まるエリア ○低未利用地の敷地規模が小さく、大規模土地利用転換の可能性が低いエリア
吹六地区 (川岸町・南清和園町・清和園町付近)	○住宅と工業・流通・業務機能が混在するエリア(川岸町) ○狭隘な道路と老朽化した木造住宅が建て込んだエリア(南清和園町・清和園町) ○阪急吹田付近への近接性が高く利便性の高いエリア ○倉庫等の流通・保管施設の立地が進むエリア(川岸町) ○共同住宅の立地が進むエリア ○都市計画道路十三高槻線の開通により地域東部との連続性が高まるエリア ○低未利用地が点在する都市計画道路十三高槻線沿道は、鉄道・道路の整備効果により、土地利用が急速に変化する可能性のあるエリア ○隣接して中の島公園や神崎川などがあるが緑地が少なくアメニティ性が低いエリア

各地区の特性を総括し、計画対象区域全体の対応すべき課題は次のように整理されます。

まちづくりの課題
■ <u>現状の問題に対応</u> ・ 交通や生活サービス等の利便性の向上。 ・ 少子高齢化に対応したまちづくり。 ・ 安心、安全な生活環境整備、防災と防犯への配慮。 ・ 業務系、住居系の住みわけと生活環境面への配慮。 ■ <u>地域の主体性を創出</u> ・ 地域の歴史やコミュニティを継承・持続し、地域の主体性を大切にする。 ・ 市民、企業、行政との協働によるまちづくり。 ■ <u>現状の資源を生かす</u> ・ 水と緑を生かしたアメニティの向上。 ・ 神崎川や、水路、吹田くわいなど、地域の歴史や地域資源をまちづくりに生かす。 ・ 神崎川沿いの産業集積地という立地特性をまちづくりに生かす。 ・ 商工業の交流や研究機関等との交流等による産業の発展・立地。 ■ <u>立地の特性を生かす</u> ・ 市南部の新たな地域拠点としての市街地の形成。 ・ 南吹田らしさの創出。 ・ 吹田の南の玄関口を演出。 ■ <u>立地変化に対応する</u> ・ 新駅や幹線道路整備に伴い駅前交通広場、道路、公園等の再編整備。 (駅前交通広場へのアクセス・鉄道東西市街地間の動線確保・運動広場機能の確保等) ・ 魅力的な市街地の形成を進めるため、特徴ある公共施設の整備や土地利用、景観形成などを含めた総合的な全体構想を持つ。 ■ <u>開発への計画的対応</u> ・ 開発が進むことによる人口増加等の影響を受け止める計画的視点を持つ。 (開発への戦略的誘導、都市基盤の整備、サービス機能の導入等)